

#### 4.1.2 導・送・配水管の被害件数

表 4.2 に口径・管種・被害形態別の被害件数を示す。

また、表 4.2 に被害件数を管種毎の管路延長で除した被害率を示す。

- ① 合計 56 件の被害が発生し、被害率は平均で 0.32 件/km であった。
- ② ダクタイト鉄管の被害件数は 15 件であり、被害率は 0.21 件/km であった。  
被害形態は一般継手部（K 形）の抜けと漏水であり、道路盛土部や液状化地盤などの悪い地盤で生じた。なお、そのうち 7 箇所の被害が、主要な送配水管において発生した。  
また、耐震継手のダクタイト鉄管が地滑り地帯である皆月地区や主要な送配水管等に布設されていたが、被害は無かった。
- ③ 石綿管の被害件数は 8 件であり、被害率は 2.75 件/km であった。被害形態はいずれも管体の破損であった。
- ④ 鋼管の被害件数は 8 件であり、被害率は 2.38 件/km であった。被害形態は継手漏水 8 件であり、すべてネジ継手部の被害であった。

表 4.2 口径・管種・被害形態別被害件数（旧門前町）

管種	DIP	ACP	SP	PE	VP	その他 (SUS)	計	管路延長 (km)	被害率 (件/km)
口径	50mm以下		4		11		15	30.2	0.50
	65～75mm	4	5	4	9		22	74.8	0.29
	100mm	4	1		3		8	30.5	0.26
	125～150mm		2		2		4	15.4	0.26
	200mm						0	7.7	0.00
	250mm	5					5	11.6	0.43
	300mm	2					2	4.5	0.44
	350mm以上						0	0.1	0.00
被害形態	継手抜け	14			10		24		
	継手漏水	1		8			9		
	管体破損		8			15	23		
	付属設備						0		
	その他						0		
計	15 (一般継手)	8	8	0	25	0	56	174.7	0.32
管路延長 (km)	70.5	2.9	3.4	2.6	94.2	1.1	174.7		
被害率 (件/km)	0.21	2.75	2.38	0.00	0.27	0.00	0.32		

輪島市建設部水道課の資料による

(注) 1. 輪島市（旧門前町を含む）には、耐震継手のダクタイト鉄管が 13.3km（平成 17 年度末集計）

布設されていたが被害は無かった。

2. 塩ビ管の被害は TS 継手での管体破損・継手抜け、RR 継手での継手抜け、漏水であった。